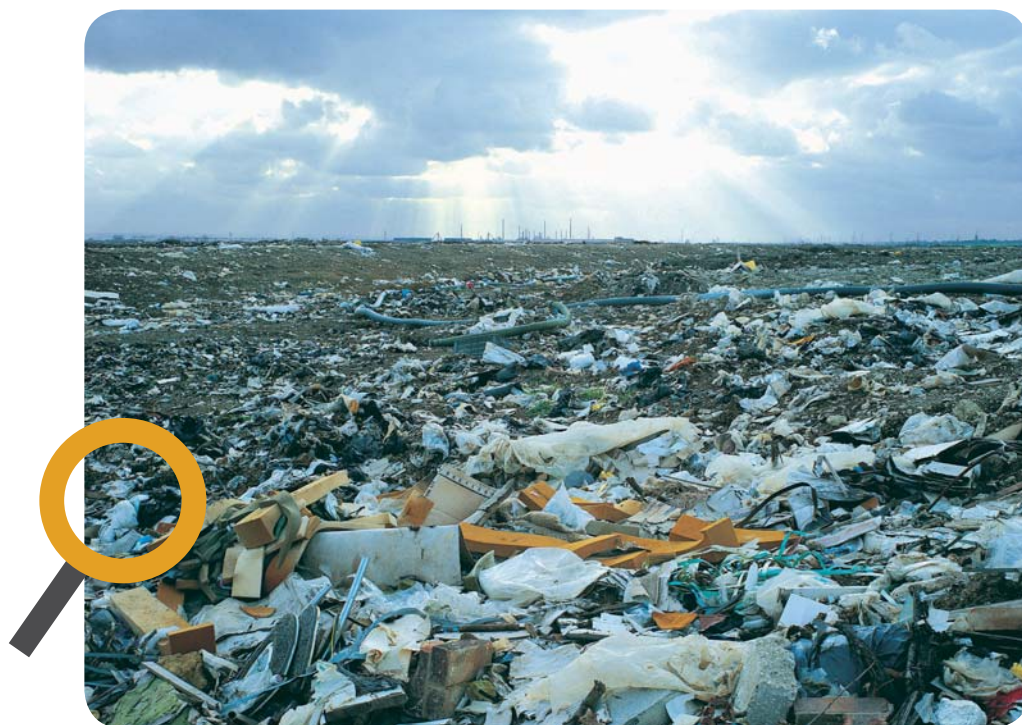


ごみ



毎日、毎日、ごみは出続ける。 ごみが出ない日はあるのだろうか？

生活する上で、買い物は欠かせない。

しかし、買い物をすれば必ずごみが出てしまう。

ごみと地球温暖化の関係を理解し、

身近な買い物を見直すことで

地球規模の環境問題を考えてみよう。

目次

p01	学習の概要
p02	指導プログラム例
p03	ウェビング
p05	ワークシート ①
p06	ワークシート ②
p07	参考資料

学習指導要領の
関連項目

小4社会

「地域の人々の生活」

小5・6家庭

「環境に配慮した
生活の工夫」

小6社会

「日本の文化」

中学 家庭

「家族と家庭生活」

中3公民

「現代社会と
私たちの生活」

高校 家庭基礎、総合

「環境に調和した
生活の工夫」

高校 現代社会、政治・経済

「公害の防止と
環境保全」

買い物に着目し、買ったばかりの商品が
多くのごみを含んでいることを知り
その処分エネルギーについて考える。

学習のねらい

生活の中から出されるごみの中でも多くを占める容器包装材に注目し、どんな容器ごみが出ているか、それらは減らせないものか考える。またごみの処理には輸送や焼却など大量のエネルギーがかかっていることを知り、ものを買うところからごみを減らす工夫について考える。

目 標

- 家庭から出されるごみには、容器包装材が多くを占めていることを知る。
- 商品には容器包装も含めて、製造時、輸送時と廃棄した後の処理時にエネルギーがかかっており、自分たちの生活には気づかないところで多くのエネルギーが使われていることに気づく。
- 買い物の工夫からごみを減らすことができ、それがエネルギーの効率化に寄与することを理解し、行動へとつなげる。

関連用語

ごみ、容器包装材、3R、製造時のエネルギー、輸送時のエネルギー、ごみ処理時のエネルギー、グリーンコンシューマー、リサイクル製品、エコラベル

対 象

小学校4年～高校

学習指導要領との関連

小学校4年生 社会科

- 地域の人々の生活（廃棄物の処理）

小学校5・6年生 家庭科

- 環境に配慮した生活の工夫

小学校6年生 社会科

- 日本の文化（江戸のリサイクル）

中学校 家庭科

- 家族と家庭生活（グリーンコンシューマー）

中学校3年生 公民

- 現代社会と私たちの生活（流通）

高校 家庭基礎、総合

- 環境に調和した生活の工夫

高校 現代社会、政治・経済

- 公害の防止と環境保全

1週間分の買い物を見つめなおし、
ごみを減らすための買い物の工夫や
リサイクル工程について学ぶ。

学習の流れ

STEP1

買い物調べ

1週間に家で買い物してきたものを調べ、どんなものを買ったか、それがどんな構成か、それぞれの役割と使い終わった後のゆくえについて整理する。

ワークシート①

STEP2

容器ごみのゆくえを追う

特に容器包装材に注目し、自分たちが出しているごみがどのように分別・リサイクルされ、焼却、埋め立てされているかを追う。また、経年変化や今後のごみ処理の計画なども調べる。

*ごみ処理センターやリサイクルセンターの見学などとあわせる。

STEP3

「ごみにかかるエネルギー」

どんなところでどれくらいのエネルギーと費用がかけられているかを調べ、ごみ処理にかかるエネルギーについて知る。地球温暖化にごみも大きく関わっていることに気づく。

STEP4

「ごみを出さない買い物の工夫」

マイバックを持ってレジ袋をもらわない、過剰包装は断る、詰め替え用や量り売りなど、買い物でできるごみを減らす工夫について考え、何も配慮をしないとごみの発生量を比較する。

発展

「ペットボトルのリサイクルを追う」

回収から再生、製品化が実現しているペットボトルを取り上げ、実際にどのような経過でリサイクルされ、社会で再利用されているかを調査する。またリサイクルする過程で、社会のどんなところにつながっているか広がりを見つける。

「マイバックのまちづくり」

無地の布製バックに絵を描いたり、プリントをするなど、オリジナルな携帯用マイバックづくりを行う。地域の商店街やスーパーなどの協力を得て、地域全体でマイバックの普及を呼びかける。

児童・生徒の思考過程

学習への関心・意欲

自分たちは、たくさんものを使って生活をしている。
日常的に家でどんなものを買っているか、考えてみる。

知識・理解

日常的に買っているものを詳しく見ると、容器や包装材が多く含まれていることを知り、それらが家庭ごみのかなりの量を占めていることを認識する。

思考

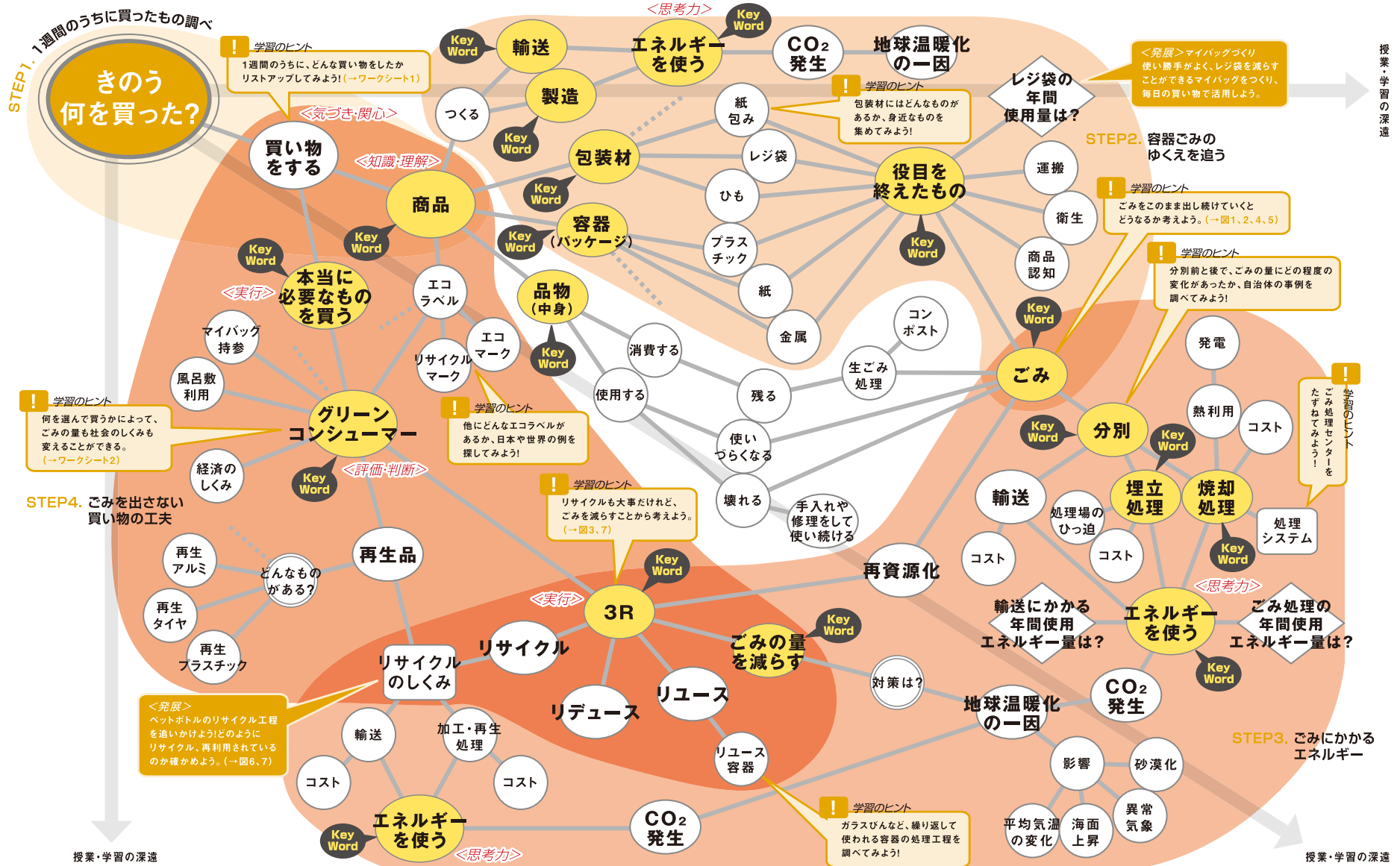
ごみの処理には、輸送時、焼却や埋め立て時などで多くのエネルギーがかかっている。
ごみの減量によってエネルギーの消費を抑えるために、どのようなごみ減量の工夫ができるか考える。

評価・判断

自分たちが買う商品が、ごみを少なくする工夫や環境への配慮がなされているか見極められるようにする。

日常生活での実行

買い物時から環境に配慮した商品を選んだり、リサイクル活動への実践を通じて、実際のごみの減量に結びつける。



買いものしらべ

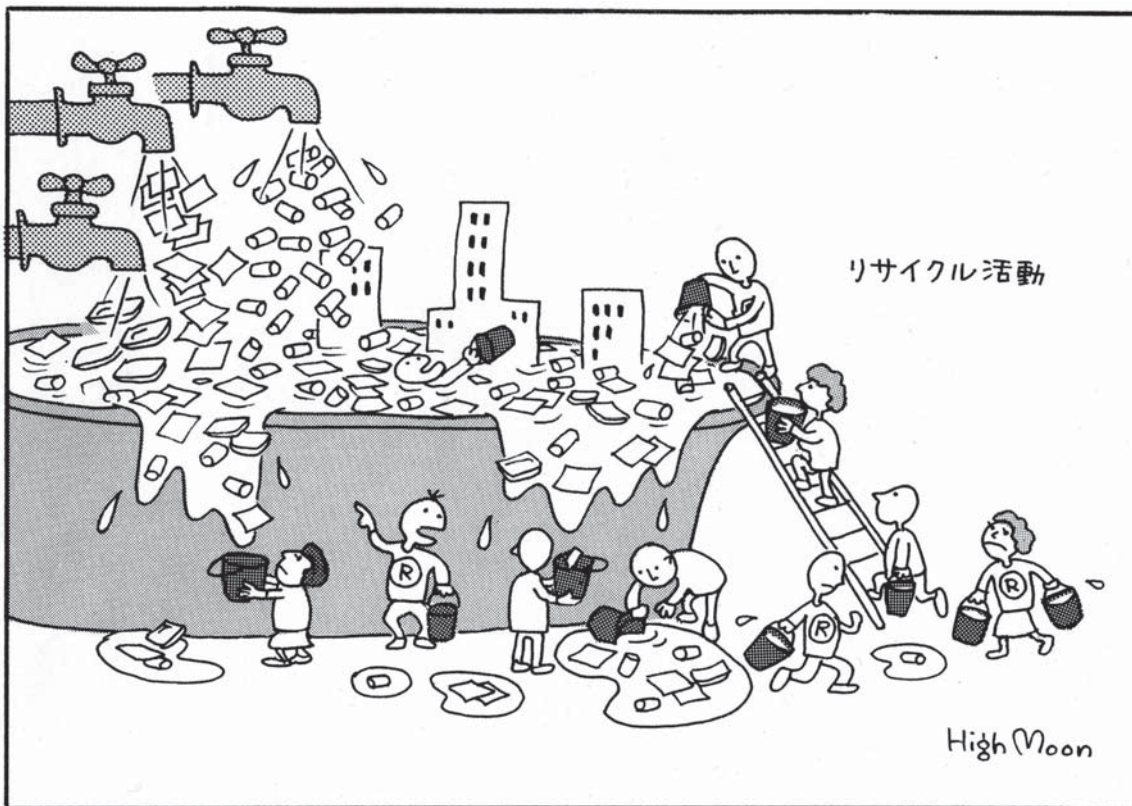
名前：

●1週間で買ったものをくわしく調べてみよう

しょうひん 商品	こうせい 構成	ほんたい 本体	ゴミ
なに か 何を買った？	なに 何からできている？	つか どう使った？	す 捨てたものは？
<div>れい 例</div> カップラーメン	<ul style="list-style-type: none"> ・うすいフィルム ・カップ (発ほうスチロール) ・中身 (なかみ) ・かやくのふくろ 	<ul style="list-style-type: none"> ・中身を食べた (なかみ た) 	<ul style="list-style-type: none"> ・うすいフィルム ・カップ ・かやくのふくろ

3Rの^と取^くり組^み

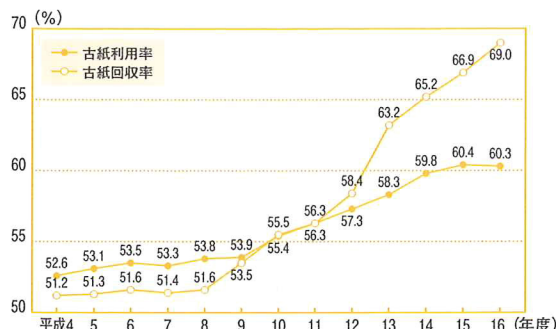
名前：



●この絵を見ながら、自分のまわりで行っている3Rの取り組みについて考えてみよう

This image shows a full page of white paper with horizontal dotted lines, typical of primary school writing paper. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

■古紙の回収率・利用率



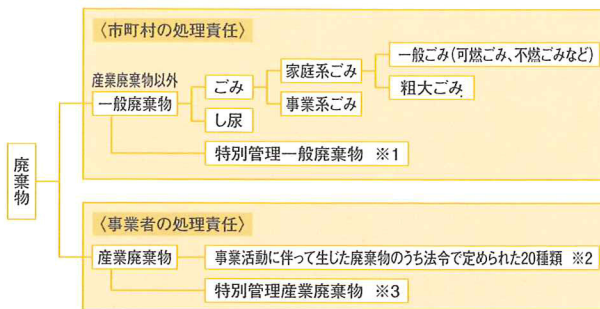
※古紙利用率＝(古紙パルプ＋古紙)／繊維原料

※古紙回収率＝古紙回収量／国内消費量

注) 品種類の変更により、平成12年度から古紙回収率の算出方法が変更されている。
(紙・板紙輸出入において従来紙二次製品の分類であった一部品種が紙の印刷用紙の分類となる)

(出典: (財) 古紙再生促進センター)

■廃棄物の区分



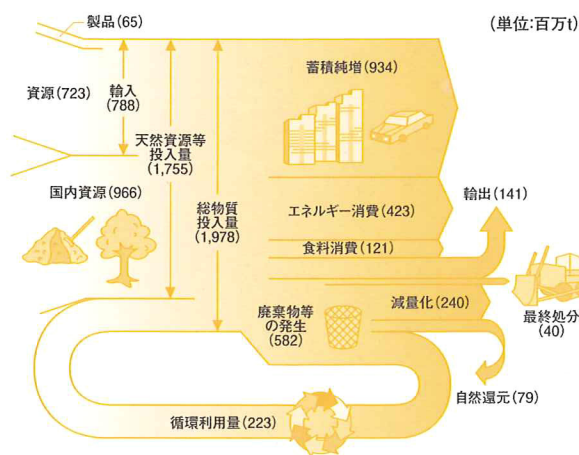
※1 爆発性、毒性、感染性その他の人の健康又は生活環境に係る被害を生ずるおそれがあるもの

※2 燃えがら、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、ゴミくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、鋳さい、がれき類、動物のふん尿、動物の死体、ばいじん、上記19種類の産業廃棄物を処分するために処理したもの、他に輸入された廃棄物

※3 爆発性、毒性、感染性その他の人の健康又は生活環境に係る被害を生ずるおそれがあるもの

(出典: 環境省)

■我が国における物質フロー(平成15年度)



注) 産出側の総量は、水分の取込み等があるため総物質投入量より大きくなる。

(出典: 環境省)

■リサイクル活動



■関連するホームページ

- 環境省
- 平成18年版「循環型社会白書」
- ECO学習ライブラリー
- チーム・マイナス6%
- 京都市公開Webサイト
- (財) 日本環境衛生センター
- (財) 古紙再生促進センター
- (財) クリーン・ジャパン・センター
- 環境goo

<http://www.env.go.jp/>
<http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/junkan/h18/>
<http://www.eeel.jp/>
<http://www.team-6.jp/>
<http://www.city.kyoto.jp/koho/>
<http://www.jesc.or.jp/>
<http://www.prpc.or.jp/>
<http://www.cjc.or.jp/>
<http://eco.goo.ne.jp/>

企画: 環境省地球環境局

編集: 全国地球温暖化防止活動推進センター (JCCCA)

〒106-0041 東京都港区麻布台1-11-9 ダヴィンチ神谷町 (財) 日本環境協会内 TEL: 03-5114-1281 FAX: 03-5114-1283 <http://www.jccca.org/>

- データは、JCCCAホームページからもダウンロードでき、活用いただけます。また、環境学習プログラムを活用した授業例も紹介しています。
- 商業目的の使用はご遠慮ください。
- 本プログラムを使用・引用する際は、出典: 環境省「地球温暖化防止のための環境学習プログラム」のように明記してください。



エコマーク認定の紙とインクを使用しています。
エコマークは(財)日本環境協会の登録商標です。
(2007年1月)